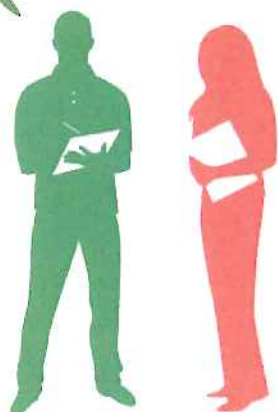


国公立大学 国公立高専  
大学共同利用機関

# 教員の研究・教育・勤務 条件改善に関する アンケートの お願い

**2016年4月開始**  
**7月11日終了!!**



教員アンケートは、これまで紙ベースで行ってききましたが今回はウェブでアンケートを実施します。以下のURLにアクセスしてください。



QRコード 

[http://zendaikyo.or.jp/?page\\_id=996](http://zendaikyo.or.jp/?page_id=996)

全大教では、これまで2008年と2012年と4年ごとに国公立大学・大学共同利用機関・国公立高専教員の研究・教育・勤務条件改善に関するアンケートを行ってきました。このアンケートは経年変化を容易に捉えられるようにほとんど内容を変えずに行っています。今回2016年もこれまで同様の形式のアンケートを実施します。

アンケートへの回答数が多くなればなるほどデータは説得力を持ちます。是非あなたの状況を教えてください。

全大教

ネット検索

トップページにバナーあります 

昨今大学のおかれている状況は急速に悪くなり、私たちの研究・教育・勤務条件も悪化の一途をたどっていると感じています。私たち教員の研究・教育・勤務条件はどの程度悪くなっているのでしょうか。私たちも研究者であるならば、データで語ろうではありませんか。本アンケートの結果は全大教のホームページで公開し、今後、全大教の各大学・高専・共同利用機関における組合活動の基礎データとして使用します。

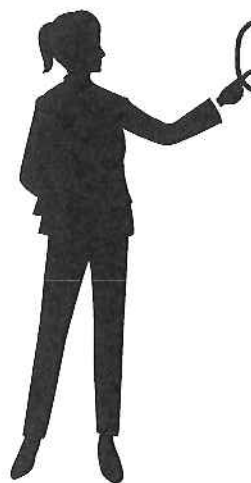
大学・高専・共同利用機関の教員の状況を明らかにするアンケートです。  
組合員であるかどうか、常勤か非常勤かに関わりません。

**是非あなたのご協力をお願いします。**

## 前回、2012年の調査結果より（一部紹介）

国公立大学・大学共同利用機関・国公立高専

# 教員の研究・教育・勤務条件改善に関するアンケート

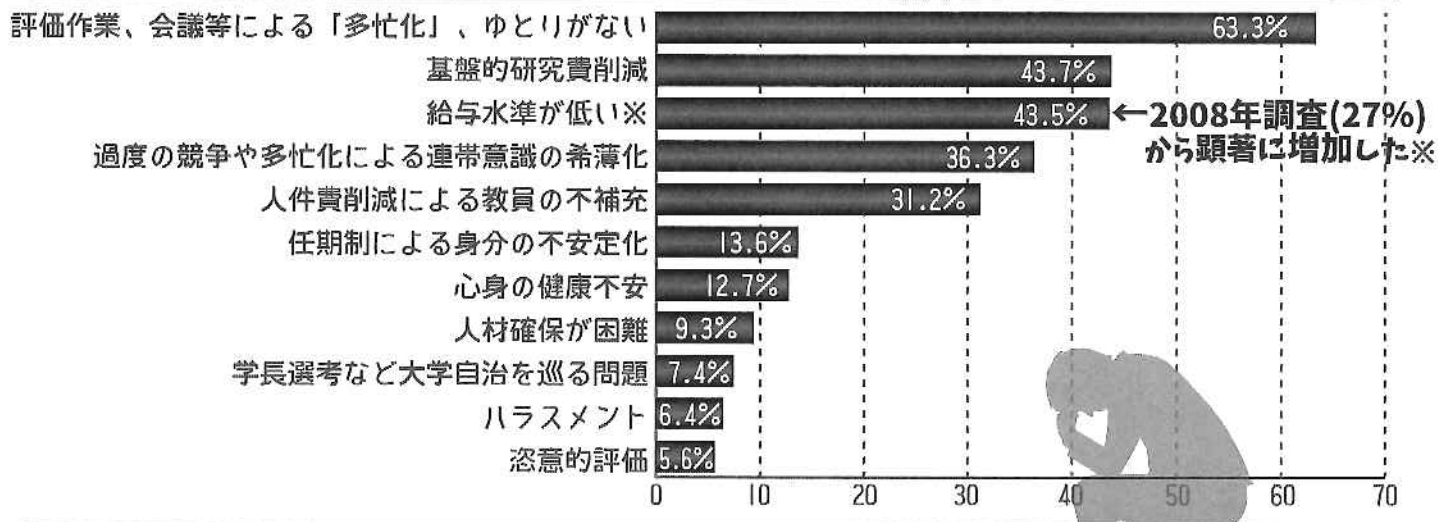


### 特徴（抜粋）

- ✓ 給与の不満が急増
- ✓ 理系は研究費削減に悲鳴
- ✓ 若手は将来の昇格・雇用に不安
- ✓ 公務激増で研究者アイデンティティが危機に

### 「近年、職場で特に問題と感じていること」（複数回答可）

第1位『多忙化・ゆとりがない』第2位『基盤的研究費削減』第3位『給与水準が低い』



「一人あたりの校費は？」 半数以上の教員が50万円以下の配分しか受けていない。そのうち30万円にも達しない教員が25%もいて、十分な教育・研究が行えない実態。

